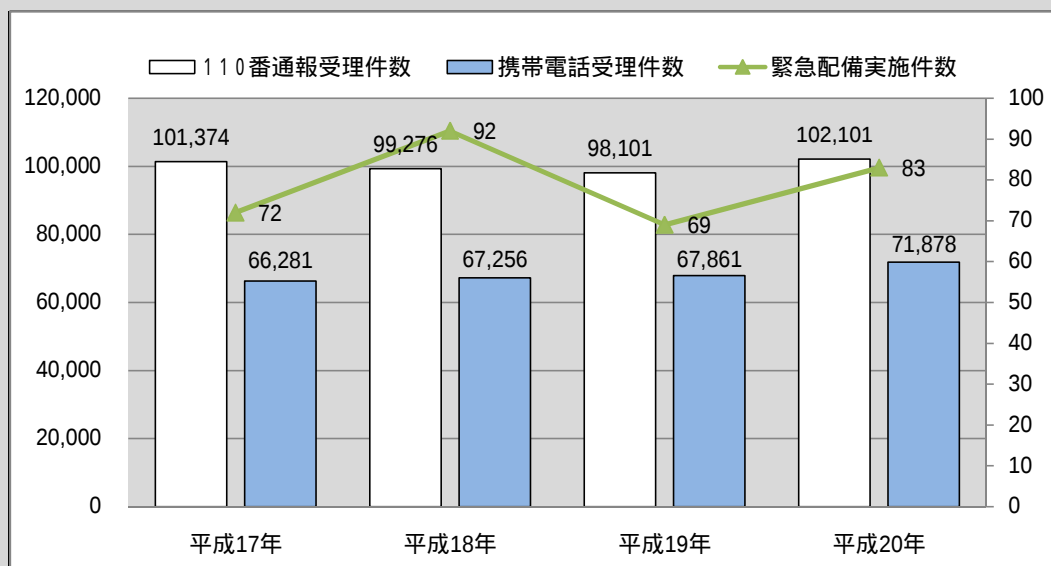


業務名

初動警察活動の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
緊急配備実施件数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	72	92	69	83	件
110番通報受理件数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	101,374	99,276	98,101	102,101	件
(うち、携帯電話等受理件数)	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	66,281	67,256	67,861	71,878	件



○業務の主なコスト

No	事業名	平成20年度事業費(千円)	平成21年度事業費(千円)
1	総合指令警察運営費	3,395	2,721
2	通信指令課機器維持管理費	179,551	178,109
3	地域警察費	610	901
4	ヘリコプター維持管理費	6,353	7,694
5	ヘリコプター運用・維持費	70,681	91,436
6			
7			
8			
合 計		260,590	280,861

○平成20年の取組み

- 初動活動を迅速・的確に実施するため、警察署の若手警察官、本部執行隊の警察官等に対し緊急事態を想定した実戦的教養訓練を実施した。
- 通信指令課だよりにおいて、社会的関心が高く、住民に強い不安を与える無差別殺傷事件発生時の初動活動の対応マニュアル等を発行し、発生時における対応の徹底を図った。

○課題と平成21年の取組み

- 本県警察は、年間約10万件の110番通報を受理しているが、通報者は警察による迅速・的確な事案への対応を強く望んでいることから、事案概要を早期に把握し、的確な指令を実施する必要がある。特に、凶悪事件の発生に際しては、早期の事件解決を図るため、迅速・的確な緊急配備を実施する。
- 迅速・的確な初動活動を推進するため、警察官の初動対応能力の向上、無線通話技能の向上等を目的とした指導、教養を反復継続して実施する。
- 緊急電話としての110番機能を確保するため、広報啓発活動を推進し、広く県民に110番制度の周知とその適切な利用の促進を図る。